



平成 23 年 12 月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

上場会社名 六甲バター株式会社
 コード番号 2266 URL <http://www.qbb.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 哲夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大川 良
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 8 月 11 日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

平成 23 年 8 月 11 日
 上場取引所 大

(TEL) 078-231-4681

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 12 月期第2四半期の連結業績(平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 12 月期第2四半期	18,603	3.7	1,859	3.3	1,863	5.3	987	△4.1
22 年 12 月期第2四半期	17,935	2.7	1,800	△1.3	1,770	△3.9	1,030	△3.9

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23 年 12 月期第2四半期	46	60	—	—
22 年 12 月期第2四半期	51	16	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23 年 12 月期第2四半期	25,807		13,623		52.8	642	71	
22 年 12 月期	24,656		12,808		51.9	604	21	

(参考) 自己資本 23 年 12 月期第2四半期 13,623 百万円 22 年 12 月期 12,808 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22 年 12 月期	—	0.00	—	10.00	10.00	0.00
23 年 12 月期	—	0.00	—	10.00	10.00	0.00
23 年 12 月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無
 22 年 12 月期期末配当金の内訳 普通配当7円 50 銭 特別配当2円 50 銭

3. 平成 23 年 12 月期の連結業績予想(平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	38,000	3.7	2,960	△12.5	3,000	△9.6	1,600	△16.3	75	47

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他(詳細は、[添付資料]P. 3「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ① 以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年12月期2Q	21,452,125株	22年12月期	21,452,125株
② 期末自己株式数	23年12月期2Q	255,161株	22年12月期	252,970株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年12月期2Q	21,197,143株	22年12月期2Q	20,132,854株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書（第2四半期連結累計期間）	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の成長を背景に、景気を持ち直しが一部に見られたものの、東日本大震災発生以降、先行きへの不透明感が強まりました。

当社グループの主力分野であるチーズ業界におきましては、依然として輸入原料チーズ価格の高止まり状態が続いているものの、家庭用チーズにおいて堅調な需要が持続いたしました。

このような状況のなか当社グループといたしましては、食の「安全・安心」を最重点に、品質管理体制の強化、販売の促進、新製品開発、コストの低減に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は186億3百万円（対前年同四半期比103.7%）、営業利益は18億5千9百万円（対前年同四半期比103.3%）、経常利益は18億6千3百万円（対前年同四半期比105.3%）、四半期純利益は9億8千7百万円（対前年同四半期比95.9%）となりました。売上高の内訳はチーズ部門が176億2千5百万円（対前年同四半期比104.0%）、ナッツ部門が4億4千5百万円（対前年同四半期比97.4%）、チョコレート部門が4億1千6百万円（対前年同四半期比96.6%）、その他部門が1億1千6百万円（対前年同四半期比127.5%）となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、短期貸付金が19億9千9百万円、建設仮勘定が3億4千8百万円、現金及び預金が1億4千8百万円増加しましたが受取手形及び売掛金が12億5千万円減少したこと等により前連結会計年度末と比較し11億5千万円増加し258億7百万円となりました。また、負債は、未払法人税等が4億6千4百万円、流動負債のその他が4億7千8百万円増加しましたが未払費用が2億6千9百万円、支払手形及び買掛金が1億8千1百万円減少したこと等により前連結会計年度末と比較し3億3千5百万円増加し、121億8千3百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上等により前連結会計年度末と比較し8億1千4百万円増加し136億2千3百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは27億5千3百万円の収入となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益と売上債権の減少による収入であります。（前年同四半期は15億9千2百万円の収入）

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは15億9千2百万円の支出となりました。主な要因は短期貸付金の増加による支出と有形固定資産の取得による支出であります。（前年同四半期は18億1千1百万円の支出）

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは2億9百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払による支出であります。（前年同四半期は2億9千1百万円の支出）

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて9億5千1百万円増加し27億5千7百万円（前連結会計年度末は18億5百万円）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、利益面では当初の予定を上回って推移はしているものの、輸入原料チーズ及び国産原料チーズ価格の引上げによるコストアップや製品価格の動向に不透明な要素があるため、平成23年2月14日発表のままとし、業績見通し等に変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出につきましては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ291千円減少し、税金等調整前四半期純利益は12,242千円減少しております。

(4) 追加情報

（事業整理損失引当金）

当第2四半期連結会計期間末において、事業整理に伴う損失に備えるため、当該損失見込額を事業整理損失引当金として計上しております。この結果、事業整理損失引当金繰入額100,607千円を特別損失に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,411,039	3,262,990
受取手形及び売掛金	7,681,553	8,931,834
商品及び製品	1,294,467	1,420,412
仕掛品	39,654	50,401
原材料	899,788	857,637
短期貸付金	4,004,262	2,004,811
その他	609,653	443,632
貸倒引当金	△140	△154
流動資産合計	17,940,279	16,971,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,955,592	4,860,063
減価償却累計額	△3,397,525	△3,356,877
建物及び構築物（純額）	1,558,066	1,503,186
機械装置及び運搬具	9,005,318	8,860,205
減価償却累計額	△6,747,363	△6,541,814
機械装置及び運搬具（純額）	2,257,955	2,318,390
土地	1,121,756	1,121,756
建設仮勘定	497,228	148,703
その他	568,083	539,094
減価償却累計額	△444,800	△420,958
その他（純額）	123,283	118,135
有形固定資産合計	5,558,290	5,210,172
無形固定資産		
無形固定資産合計	115,117	128,935
投資その他の資産		
投資有価証券	703,565	713,231
その他	1,502,058	1,644,625
貸倒引当金	△12,021	△11,866
投資その他の資産合計	2,193,603	2,345,990
固定資産合計	7,867,010	7,685,099
資産合計	25,807,290	24,656,665

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,760,557	3,942,386
短期借入金	1,500,000	1,500,000
未払法人税等	862,230	397,497
未払費用	2,591,833	2,861,039
株主優待引当金	—	7,370
役員賞与引当金	—	50,000
事業整理損失引当金	100,607	—
その他	1,192,044	713,912
流動負債合計	10,007,273	9,472,205
固定負債		
退職給付引当金	1,792,133	1,936,819
その他	384,341	438,997
固定負債合計	2,176,474	2,375,817
負債合計	12,183,748	11,848,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,843,203	2,843,203
資本剰余金	2,522,685	2,522,571
利益剰余金	8,149,834	7,374,082
自己株式	△83,142	△82,107
株主資本合計	13,432,581	12,657,749
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	197,673	204,033
繰延ヘッジ損益	△6,712	△53,140
評価・換算差額等合計	190,961	150,892
純資産合計	13,623,542	12,808,642
負債純資産合計	25,807,290	24,656,665

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	17,935,079	18,603,789
売上原価	9,786,169	10,085,211
売上総利益	8,148,909	8,518,577
販売費及び一般管理費	6,348,350	6,658,615
営業利益	1,800,559	1,859,962
営業外収益		
受取利息	2,913	7,473
受取配当金	8,967	10,385
その他	6,921	8,071
営業外収益合計	18,802	25,931
営業外費用		
支払利息	9,568	8,485
為替差損	16,449	5,596
その他	22,998	8,260
営業外費用合計	49,015	22,342
経常利益	1,770,346	1,863,550
特別利益		
投資有価証券売却益	7,500	—
貸倒引当金戻入額	1	14
特別利益合計	7,501	14
特別損失		
固定資産廃棄損	31,647	7,540
災害による損失	—	18,004
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	11,950
事業整理損失引当金繰入額	—	100,607
特別損失合計	31,647	138,103
税金等調整前四半期純利益	1,746,201	1,725,461
法人税、住民税及び事業税	619,000	834,000
法人税等調整額	97,144	△96,282
法人税等合計	716,144	737,718
四半期純利益	1,030,056	987,743

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,746,201	1,725,461
減価償却費	406,053	444,370
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△46,375	△144,686
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,018	140
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	100,607
長期未払金の増減額 (△は減少)	9,531	△69,468
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	11,950
受取利息及び受取配当金	△11,881	△17,859
支払利息	9,568	8,485
為替差損益 (△は益)	19,794	3,830
有形固定資産廃棄損	31,647	7,540
投資有価証券売却損益 (△は益)	△7,500	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,372,576	1,250,280
たな卸資産の増減額 (△は増加)	19,207	94,541
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△15,483	△59,558
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	68,965	104,421
仕入債務の増減額 (△は減少)	447,517	△181,828
未払費用の増減額 (△は減少)	△351,002	△269,190
その他	△496,596	108,650
小計	3,204,241	3,117,690
利息及び配当金の受取額	11,881	17,859
利息の支払額	△9,781	△8,528
法人税等の支払額	△1,614,273	△373,456
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,592,068	2,753,565
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△810,500	△602,362
定期預金の払戻による収入	53,989	1,401,895
有形固定資産の取得による支出	△497,563	△392,382
無形固定資産の取得による支出	△63,174	—
投資有価証券の取得による支出	△1,487	△1,471
投資有価証券の売却による収入	7,800	0
短期貸付金の増減額 (△は増加)	—	△1,998,403
貸付けによる支出	△503,380	—
貸付金の回収による収入	3,186	—
その他	—	265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,811,128	△1,592,458
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△90,000	—
配当金の支払額	△200,064	△208,772
その他	△1,631	△920
財務活動によるキャッシュ・フロー	△291,696	△209,693
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△510,756	951,413
現金及び現金同等物の期首残高	2,490,365	1,805,763
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,979,608	2,757,177

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

事業の種類として「食料品の製造販売業」のみの単一事業を営んでいるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店はありませんので、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

海外売上高はありませんので、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

当社グループの事業は、チーズ類、ナッツ類及びチョコレート類等の食料品の製造・販売業であり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。